

慶 早 定 期 戦 に よ せ て

慶応義塾大学経済学部 昭和19年卒業 森 友 徳 兵 衛

慶早バドミントン定期戦が今年で第8回を迎へ両校のO. B. 現役が益々親しさを増して来ている事は
 本当に欣しい事と思つている。

私が監督時代に第1回を開催したのであるが丸7年を経過した今日、今昔の感に打たれるものがある。
 慶早バドの特徴は奇謀術策に頼らず、堂々たるシャド對抗を打出し過去現在に亘るバドミントン対
 抗競技史上唯一の格調を備へている事は両校関係者は共に誇として居る処である。この他本邦唯一の
 O. B. 定期戦を併備している事も両校の基礎が他校に比して確りしている事の証左であり、後輩の為を
 思う心と先輩の為に尽す心とを表示しているのである。更に本塾にとつて云へば最も古い歴史を持つた
 我部が早稲田以外に定期戦を持つていないと云う事である。この様な事柄は第1回の当時決めた事なのだ
 が、現在に至る間の我部の歴代監督、主将の諸君が、快くそれ等を伝統若しくは尊厳な歴史として尊重
 してぐくれている事に私は尽きない感謝の気持を持つている。と同時に早稲田慶応両校の揺ぎなき基盤と
 洋々たる発展を見る様な気がするのである。

悔ゆる事なくこの日を闘い給へ、而て未来に続く尊敬と信頼の杯を八度挙げようではないか。

慶応義塾大学文学部 昭和34年卒業 豊 場 建

7月も終りに近づき塾の夏期強化合宿も終り各 O. B. 連が「出場しても動けないよ」とは云いなが
 ら内心腕を撫でて待ちわびている早慶バドミントン定期戦が間近くなつてきた。

聞くところによると今年から O. B. 戦はダダルスのみとなつたとの事であるがこれは O. B. 諸氏
 にとつては喜こばしい事である。もつともこれは O. B. 連の数が増へた為に現役諸君の苦肉の策で O.
 B. 連の体力を気使つての事ではないと自負している次第ですが。

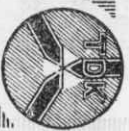
何はともあれ塾の O. B. 諸氏も O. B. 戦の勝利を旨ざして藤沢での現役の夏期合宿に参加して涙
 ぐましい練習をしていますからさぞ好試合が期待出来るでしょう。今年で定期戦も8回目私も第3回
 から参加していますがこの定期戦ほどお互に激しいフアイトで戦ううちになごやかさと楽しさを持つ
 合は他に類がないと思つています。

さて現在の早慶両校は関東リーグ一部にあるとは云え決して満足出来るものではないと思ひます。人
 間が不可能を可能にする方法は発明と練習あるのみと云われますが両校諸君の努力により早慶バドミ
 ント定期戦が文字通りバドミント世界の天下分け目の試合となりこの定期戦が今後益々栄える事を祈
 ります。

最後に早稲田が O. B. 現役諸氏の努力により一部にカムバツクされた事を心からお慶び申し上げます。

量質共に最高水準をゆく

人造黒鉛電極板	カーボンブリック	合金
電解刷	カーボンブラツク	高純度シリコン
電	カーバイド	その他炭素製品一般
トナー用黒鉛	溶解アセチレン	
原子	炭	



東 海 電 極

本 社 東京都中央区港町三 電 話 築 地 (551) 3191-8

第 8 回 早 慶 戦 に 寄 せ て

早稲田大学商学部 昭和 28 年 卒 業 津 田 信 一

「先輩第 8 回早慶戦に何か書いて下さい」と云ふ電話を受けた時「困つたな、俺が筆に弱いのは知つて居る筈じゃないか」と云う言葉と共に「もう 8 回になるか、早いものだな、27 年神戸のインターカレッジの時、当時の奥井先生、広田主将にお願いして出来た早慶戦もはや 8 回目になるのか」と思はず一人言を云つて了つた。

当時、我が部も創立まだ日が浅く、4 年生は私一人、3 年生も深野、坂井と上級生は数える迄もない状態で、よくもあつたかましく、塾へ申し込めたものと、今考えても冷感する次第です。と同じじに、今更の如く、当時の約束を思い出すのです。「塾と稲門は 10 年の開きがあります。故に 10 年間は足手まといでしょうが、ご勘弁願います。然し 10 年後には必ず対等の好試合の出来る様、頑張りますから、それ迄御指導、御鞭撻を願います」と。もうこの約束の期間もはや目前に迫つて来ました。よくこそ迄、塾の諸兄にはお世話下さいました。という感謝の念で一杯であると共に、もうそろそろ愚弟も賢兄に相撲の社会ではないが、「御恩返しを」しなくしてはと思ふ次第です。

早稲田大学政治経済学部 昭和 34 年 卒 業 麻 生 卓 司

— 慶応さんへの挑戦状 —

長年の宿願であつた一部昇格も爽り、晴れて慶応さんとも年に三度御目に掛る事になつたが、何と云つても九月の定期戦が我々 O. B. にとつて最も待遠しいものである。

あの両校 O. B. 現役選手の「必勝」の気持の秘められた激しい闘志、又早慶戦ならではの味えぬ戦い終つての心と心のふれ合う独特のなごやかな交歓等この日のためにこの一年を過して来た様な早慶戦当日である。

特に今年は O. B. 現役共長年御指導頂いた兄弟子に恩返しをすべく、慶応時代に終止符を打ち新たな早稲田時代を築かんと我々の意気も大いに盛んである。

慶応の諸先輩並びに現役の諸君も心して我々の当日挑戦を御待ちの程を。

又早慶戦には勝負を度外視した一面もあることを忘れてはいけないと思う。それだからと云つて遊んでいと云つて居るのではなく、勝負にこだわらずに各自持てる力を充分に發揮し、学生バドミントンの最高峰に位する関東学生バドミントンリーグの一部の一員であることを自覚し、若人らしい闘志に満ちた試合が展開されることを希望する。

三田クラナの諸氏大いにやりましょう。

川崎で都心の

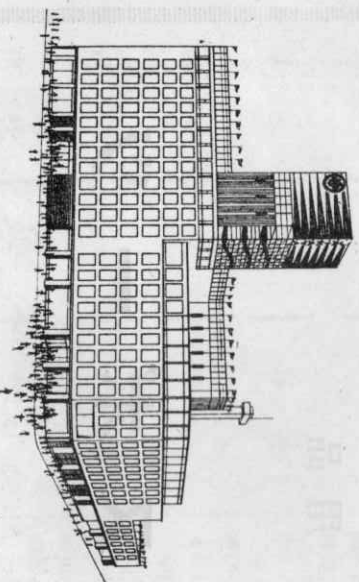
お買物...

屋上モノレール開通

川崎

さいか屋

電話代表 2) 2621 ・ (3) 5381
木 曜 定 休



男子戦オーター

男子戦予想

慶応義塾大学

{ 復
単

早稲田大学

早稲田大学 O. B.

福井 正 康

今年で八回目を迎えた早慶戦の予想を書くことになつたが、この試みは従来皆無であつたため、少しばかり戸惑いしている。

しかし考えてみると、予想が必要ならば今年の定期戦は、早慶両校の技倆が伯中しているわけで、長い間胸を貸して貰つた早大はこの辺で是非先輩の慶応から一勝をあげ、恩返しをした方がいいところである。

15試合のうち、慶応の確実なポイントと思われるものが3つ、早稲田は2つ、従つて残りの10試合は全く予想を許さない。

強いていへば、ダナルスは3勝2敗、若くは4勝1敗で慶応、シングルスは5勝5敗、結局8勝7敗と9勝1敗で慶応大学が勝利を握るだろう。もちろん早稲田大学にも勝機がないわけではない。早大勝利の鍵を握るものは一に新人の活躍如何による。すなわち、第2、第3、第4とくつわをならべた新人の今井、小木(弟)、安松あたりが慶応の中堅である行形、石神、白井を破れば、慶応としても安閑としてその王座を守りきれまい。

シングルスの後半ではまず蒔田、塚がよい試合を展開しそうだ。昨年の雪辱を期す慶応蒔田と、最近のびぬんでいる塚との一戦、また山田対小木(兄)の対戦は山田に一日の長があるが、小木も春季リーグを契機にかなりの進境がみられるので、これも接戦となるう。

シングルスの第9試合である慶応大学中村と早稲田大学小川との一戦は本定期戦中、随一の好試合である。ともに両校のエースであり、しかも3年生同志なので、力こもつた大型な試合となりそうだ。

昨春来日したマラヤの選手と関東学生選抜選手との親善試合の頃、絶対調にあつたと思われ中村が、以後格段の進歩もみせていないので気掛りだが、春季リーグは単で5勝、山田と組んだダナルスは4勝1敗と確実にポイントをあげ、流石にエースの貫録充分である。

一方早大小川は最近ようやく自己のペースによる試合運びを会得し、去る6月の関東学生選手権では、堂々と4位に輝い込んでいる。

小川の豪快なスマッシュも、窺ひ自在に球を操る中村の前ではそう簡単に決めだまとはならないので長いラリーの交換となりそうである。後半の3試合、結局は慶大山田、蒔田に分のある一戦であるし、中村対小川は小川の勝とみたい。

以上で男子戦の予想を了えるが、勝敗はともかく、早大が一部入りをしての初の早慶戦なので、リーグ戦とは違つた意味で興味深く、早慶両校選手の健闘を期待して止まない。

ダナルス	シングルス
1 臼井 伸中	1 小杉 杉
2 藤宮 永	2 行形
3 中山 村田	3 石神
4 松高 昇井	4 臼井
5 小杉 林	5 松田
6 安松 水	6 宮永
7 七清	7 蒔田
8 小塚 川	8 山田
9 小川	9 中村
10 小林	10 高井